

TRIO®

MODEL 5220

ゼネスコープ

受注品

本器はオシロスコープと掃引信号発生器を一体化したゼネスコープです。本器一台でラジオ関係の中間周波特性を直視しながら、調整・検査をすることができます。

掃引中心周波数は切替えにより3波の選択が可能で、しかも各帯域とも3点のマーカを内蔵、正確かつ見やすいパルスマーカ方式です。

また、明るくシャープな角型ブラウン管の採用や掃引発振部の直線性の良さなどAMラジオやFMレシーバーはもとよりカーラジオなどのIF調整にも非常に便利です。



特長

- 1) 掃引中心周波数は262.5kHz、455kHzおよび10.7MHzの3波が選択できます。
- 2) 掃引発振部は可変容量ダイオード方式を採用していますので直線性は非常に良好です。
- 3) 水晶フィルターによるパルスマーカ方式を採用していますので正確で明瞭な測定ができます。
- 4) テレビ用角型ブラウン管を採用していますので明るくシャープな波形が観測できます。
- 5) 掃引出力部の減衰器は-3dB、-6dB、-10dB、-20dB、-20dBの加算式です。
- 6) モニタースコープ部は十分な感度と帯域をもっており、特に感度は最高1mV/DIVまでアップできます。
- 7) 掃引繰返し周波数は電源周波数の1/2ののこぎり波を用いていますので確度の高い測定ができます。

定格

● 掃引中心周波数および掃引周波数範囲		● マーカ周波数確度	±0.5%以上
"262.5kHz" 262.5kHz±50kHz		● マーカ出力電圧	±4Vpp以上
"455kHz" 455kHz±50kHz		● ブラウン管	5吋角型電磁偏向ブラウン管
"10.7MHz" 10.7MHz±500kHz		● 垂直軸感度	10mV/DIV、(但しPullにて1mV/DIV)
● RF出力電圧	100dB以上(50Ω終端にて)	● 垂直軸周波数特性	DC~15kHz(-3dB)
● RF減衰器	-3dB、-6dB、-10dB、-20dB、 -20dB(加算式)	● 校正電圧	0.1Vpp(電源周波数、方形波)
● RFフラットネス	±1dB以内	● 電源	AC100/120/220/240V 50/60Hz 約40W
● 掃引周波数直線性	10%以内	● 寸法・重量	幅260×高さ190×奥行378(mm)約10kg
● 掃引方式	可変容量ダイオード方式	● 付属品	取扱説明書 1部 アクセサリコード(CA-41) 2本 電源コード 1本
● 掃引繰返し周波数	25Hz or 30Hz(電源周波数の1/2)		
● マーカ方式	輝度変調方式		
● マーカ周波数	"262.5kHz" 252.5kHz、262.5kHz、272.5kHz "455kHz" 445kHz、455kHz、465kHz "10.7MHz" 10.55MHz、10.7MHz、10.85MHz		

◎ 定格・意匠は改善のため予告なく変更することがあります。



トリオ株式会社

本社 - 東京都目黒区青葉台3の6の17(☎153)☎(03)464-2611(代)

● 測定器に関するお問い合わせは

測定器東京営業所 - 東京都世田谷区池尻3の21の24広井産業ビル(☎154)☎(03)413-2191(代)
測定器大阪営業所 - 大阪府都島区中野町2の10の17(☎534)☎(06)352-0891(代)
測定器名古屋営業所 - 名古屋市中区大須4の3の46小川ビル(☎460)☎(052)262-6701(代)